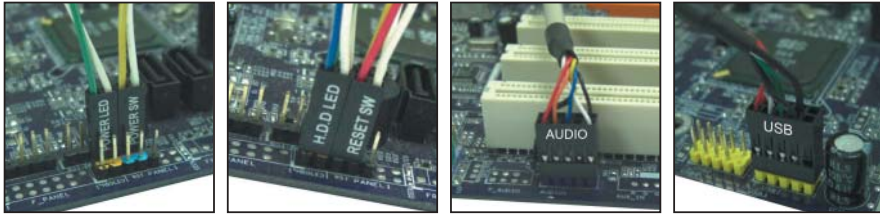


V-Touch Pro

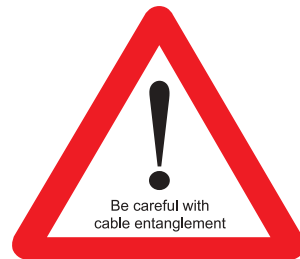
取扱説明書

本ケース付属の各ケーブル(スイッチ類など)の接続について



お使いのマザーボードの取扱説明書をご参照の上、正しく接続を行って下さい。
上の画像は一般的な接続イメージとなり実際の接続位置と異なる場合があります。

注意：



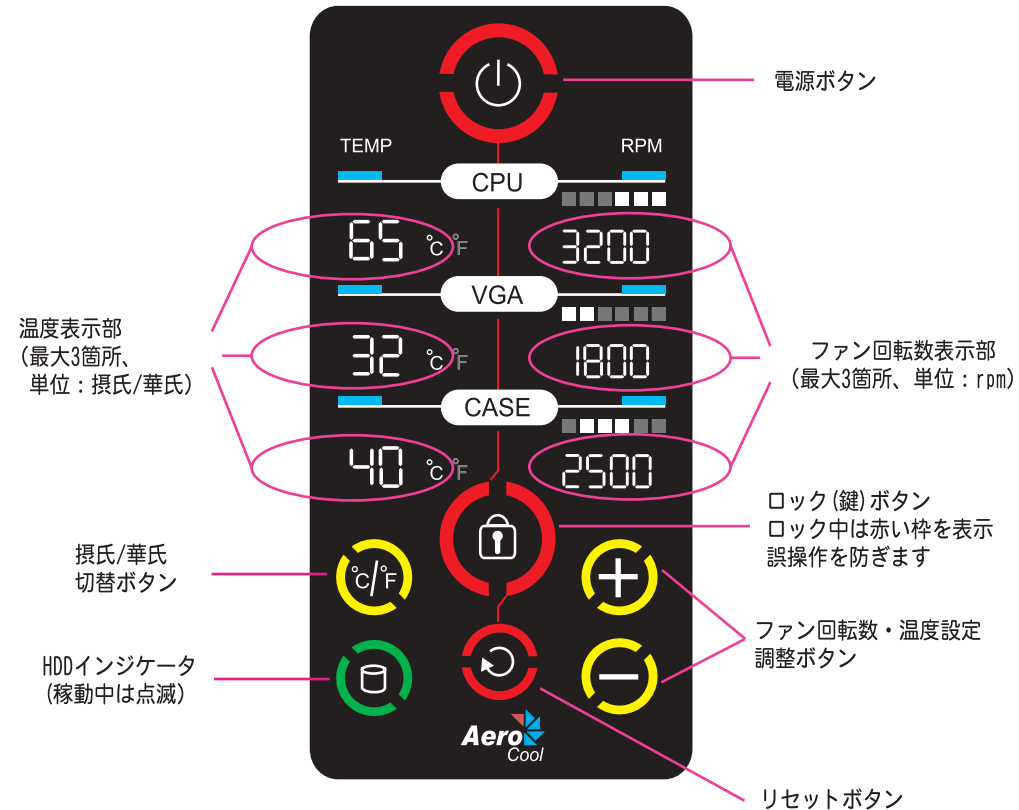
サイドパネルに搭載の40cmファンと干渉しないよう、各ケーブルの配線は結束するなどの調整をお願い致します。

LCDモニター

当製品はタッチパネル(指で直接モニターに触れて操作)方式のLCDモニターを搭載しております。

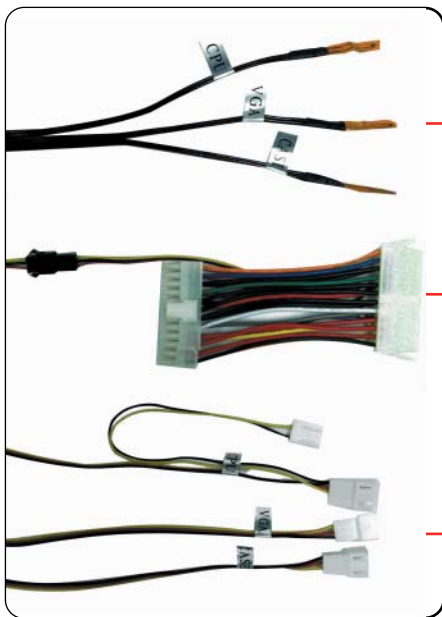
最大3箇所の温度計測(表示)、ファン回転数計測(表示)、およびファン回転数の調整、警告温度の設定などが可能です。

1. タッチパネルの操作に先の尖った物を使用しないで下さい。
LCDモニターの破損につながる恐れがあります。
2. タッチパネルは軽く触れるだけで操作可能です。
必要以上の力で操作しますとLCDモニターの表示不良を引き起こす恐れがありますのでご注意下さい。

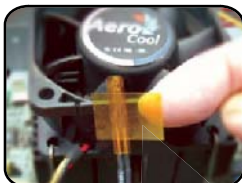




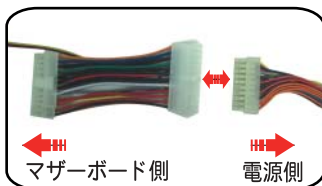
サイドパネルに搭載の40cmファンは定格で400rpmと極めて低回転となりますので当製品のLCDモニターを始めとしたファンコントローラー類への接続はしないで下さい。回転不良とLCDパネル不良の原因となります。



温度センサー (4つ)



電源接続用コネクタ




FAN接続用コネクタ



警告温度初期設定

チャンネル 警告温度	CPU	VGA	CASE
°C	65	55	45
°F	149	131	113

電源入力 (パワーオン)

LCDモニターと電源を接続すると通常 (非使用状態) はスタンバイ状態となります。これは、電源から+5VSBの供給を受けているためです。LCDモニターの  ボタンを押し電源のON/OFF操作を行って下さい。



スタンバイ状態



電源入力

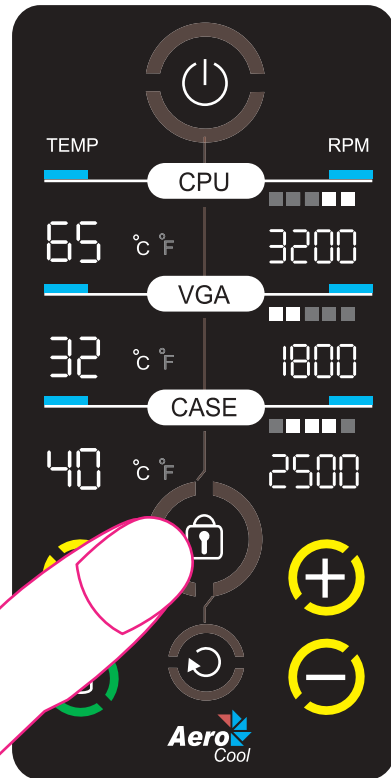


スタンバイ状態から通電を完全に遮断したい場合は、電源本体のON/OFFスイッチをOFFにするか、コンセントを抜いて下さい。

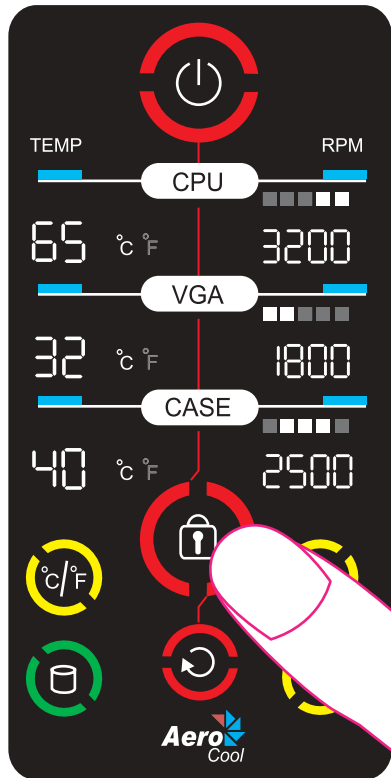
キーロック/ロック解除

当製品にはLCDモニターの誤操作を防止するキーロック機能が搭載されています。30秒間以上タッチパネル操作が行われないと自動的にキーロックが掛かります。キーロック状態の場合、LCDモニターの電源/ロック(鍵マーク)/リセットの各ボタンに赤い円形の枠が表示されます。(それ以外の機能もすべてロックされます)

ロックを解除したい場合は、ロック(鍵マーク)ボタンを押して下さい。



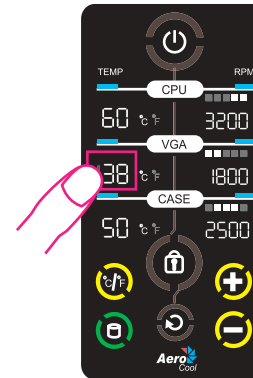
ロック解除状態



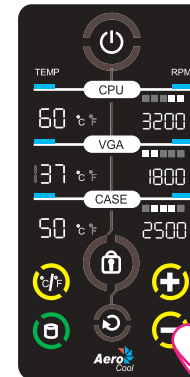
キーロック状態

警告温度の設定方法

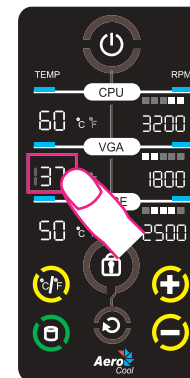
任意のチャンネル(以下の説明では例としてVGAチャンネルを選択)を選択します。



1. タッチすると選択した温度表示が点滅します。



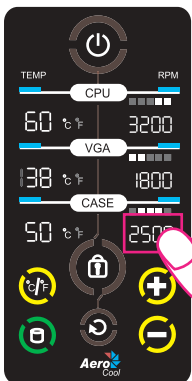
2. +もしくは-ボタンを押して任意の温度に設定します。(30~90°Cの範囲で設定可能です)



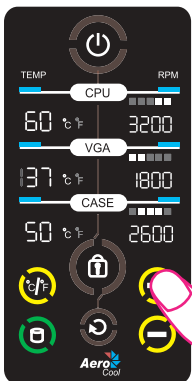
3. 再び温度表示部をタッチすると設定した温度が記憶されます。(30秒間操作が無い場合も、同様に設定が記憶されキーロック状態となります)

ファン回転数の設定方法

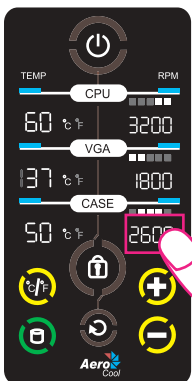
任意のチャンネル（以下の説明では例としてケースチャンネルを選択）を選択します。



1. タッチすると選択したファン回転数表示が点滅します。



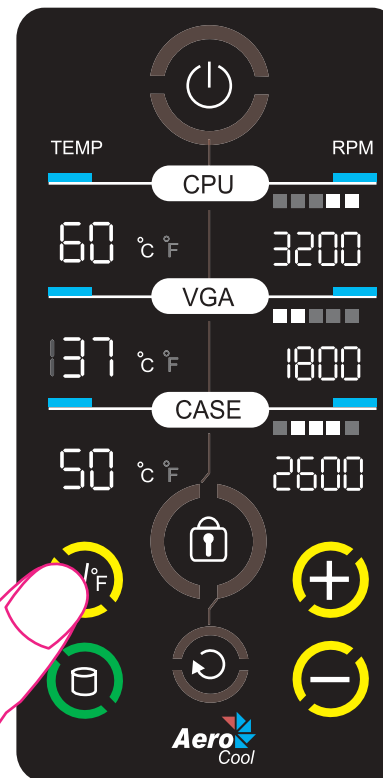
2. +もしくは-ボタンを押し任意のファン回転数に設定します。（最低回転数は接続したファンの定格回転数の60%となります。例えば定格2000rpmのファンを接続した場合、設定可能な最低回転数は $2000 \times 0.6 = 1200\text{rpm}$ となります。また、回転数は100rpm刻みで設定可能です）



3. 再びファン回転数表示部をタッチすると設定した回転数が記憶され自動で回転数の増減を行います。（30秒間操作が無い場合も、同様に設定が記憶され回転数の増減が行われると同時に、キーロック状態となります）

摂氏/華氏表示切替方法

下図のように摂氏/華氏ボタンを押し温度表示の単位を変更します。



接続するファンについて

各チャンネルに接続可能なFANは0.4A以下となります。接続前にお使いのFANの仕様を確認して下さい。
規定値以上の仕様のFANの接続は発熱その他の機器の損傷につながる恐れがありますのでご注意ください。

